



平成 16 年 11 月 15 日

各 位

東京都中央区新川一丁目 26 番 2 号
株式会社 サン・ジャパン
代表取締役社長 李 堅
(コード番号: 2315)
問い合わせ先: 経営企画室 近衛 伸賢
03-3206-1980(代表)

平成 17 年 3 月期 (連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 16 年 5 月 13 日付当社「平成 16 年 3 月期決算短信 (連結)」にて開示いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 17 年 3 月期 連結業績予想の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,500	1,170	1,480
今回修正 (B)	10,500	1,073	678
増減額 (B - A)	-	97	2,158
増減率	- %	8.3%	- %

2. 業績予想の修正理由

本業績予想の修正は、株式会社ティー・シー・シー (以下「TCC」と略す) との株式交換により発生する連結調整勘定 (いわゆる「のれん代」) について、その計上額と償却方針が確定したことに伴うものであります。その他の前提につきましては、当初予想との変更はありません。

平成 16 年 5 月 13 日に発表した連結業績予想において、TCC との株式交換により発生する連結調整勘定としての計上額は、株式交換に係る覚書の公表の日 (5 月 6 日) の株価終値に株式交換により交付される当社の新株式数を乗じた金額を基礎としておりました。また償却方針については、株式交換を行った日の属する会計年度において一括償却することを念頭において試算しておりました。

その後、10 月 9 日の TCC との株式交換の実施を踏まえ、TCC の純資産額の確定と連結調整勘定の計上額の確定、及び連結調整勘定の償却を含めた会計方針について、精緻に検討を進めてまいりました。

今後公表が予定されている「企業結合会計基準」の「実務指針」において、単純な一括償却は営業損益の変動が過大になり業績の比較が困難になることから認めない旨が明記される方向

であることが明らかになってきた（6月5日付日本経済新聞報道）という会計基準に関する動向等も踏まえ、当社としましては、

- (1) 連結調整勘定の償却については、当初予定していた一括償却ではなくその効果が発現すると見込まれる期間（5年）にわたって均等償却することといたしました。
- (2) 一方で、連結調整勘定の計上額の算定においては、株式交換直近の当社及び市場全体の株価動向に異常な高騰が含まれているとの判断に基づき、株式交換から3ヶ月の加重平均の株価を基礎とすることが望ましいとの結論に至ったものであります。

以上のように、今回の業績修正は、TCCとの株式交換に伴う連結調整勘定の金額の最終確定、処理方法の確定に伴い、連結業績予想を修正することとしたものであります。連結調整勘定を期間均等償却する場合、当該額は販売費及び一般管理費として扱われることとなるため、経常利益は計画を下回りますが、当期利益については計画を上回ることとなります。

今回の業績修正は、連結のみであり単体の業績予想には変更はありません。

なお、先般（11月9日）に株式会社アイビートとの株式交換を公表いたしましたが、同社との株式交換に伴う連結調整勘定の金額、償却方法につきましては、個別要素を詳細に検討の上最終的に確定する予定であります。

【ご参考】前期の連結実績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（4/1～9/30）	2,653	184	110
通期（4/1～3/31）	6,290	817	480

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上